
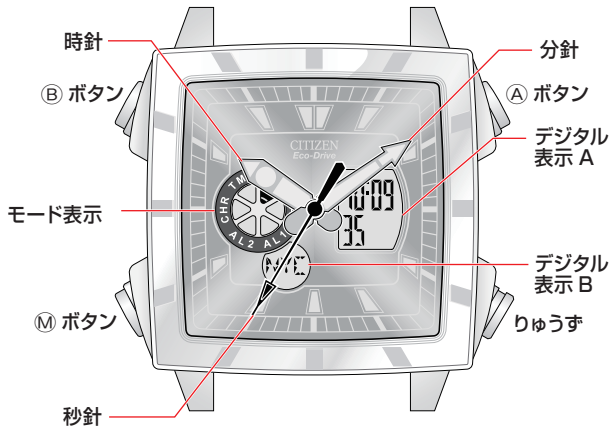


U200 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  U200 取扱説明書

各部の名称



- モデルによってデザインが異なります。

モードを切り替える

6つのモード、[TME](時刻)、[CAL](カレンダー)、[AL1]/[AL2](アラーム 1/2)、[CHR](クロノグラフ)、[TMR](タイマー)を切り替えます。

1. ③ ボタンをくり返し押す

現在のモードが、モード表示に示されます。



時刻を合わせる

アナログの時刻を合わせる

1. 秒針が 0 秒を指しているときに、りゅうずを引く
秒針が止まります。
2. りゅうずを回して、時刻を合わせる
• 4～5 分進めてから正しい時刻に戻すように合わせると、より正確に合わせられます。
3. 時報に合わせてりゅうずを押し込む
秒針が動きはじめます。

デジタル表示の時刻を合わせる

- デジタル表示の時刻合わせは、③ ボタンを押すと中断できます。
- 時刻合わせの途中で操作を行わないまま約 2 分間経過すると、自動で中断します。

1. ③ ボタンをくり返し押して、モードを [TME] にする



2. ① ボタンまたは ② ボタンをくり返し押して、デジタル表示 B に「TYO」を表示させる

- 「TYO」以外を選んだときは、現地の時刻に合わせます。

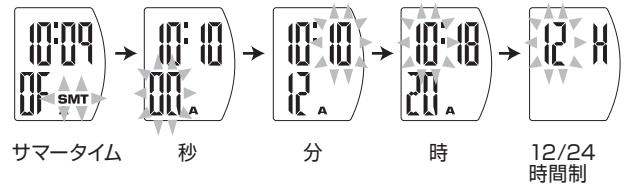
3. デジタル表示 A で「SMT」が点滅するまで ② ボタンを押し続ける

時刻合わせができるようになります。

- 点滅している部分が、修正できる対象です。

4. ② ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ

- ② ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



5. ① ボタンを押して、修正する

- 「秒」を合わせるときは、時報に合わせて ① ボタンを押します。
- 「分」と「時」を合わせるときは、① ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
- 12 時間制表示では、午前 / 午後の区別は「A」 / 「P」と表示されます。

6. ② ボタンを押して終了する

カレンダーを合わせる

この時計のカレンダーは、うるう年を含む 2099 年 12 月 31 日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

- カレンダー合わせは、③ ボタンを押すと中断できます。
- カレンダー合わせの途中で操作を行わないまま約 2 分間経過すると、自動で中断します。

1. ③ ボタンをくり返し押して、モードを [CAL] にする



2. ① ボタンまたは ② ボタンをくり返し押して、デジタル表示 B に「TYO」を表示させる

- 「TYO」以外を選んだときは、現地のカレンダーに合わせます。

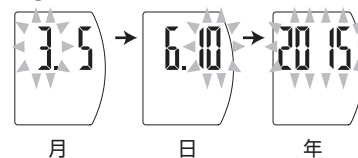
3. デジタル表示 A で月の表示が点滅するまで ② ボタンを押し続ける

カレンダーの設定ができるようになります。

- 点滅している部分が、修正できる対象です。

4. ② ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ

- ② ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



5. ① ボタンを押して、修正する

- ① ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

6. ② ボタンを押して終了する

- 曜日は自動で設定されます。

7. ③ ボタンを押して、モードを [TME] にする

ワールドタイムを使う

- ① ① ボタンをくり返し押しして、モードを [TME] にする
 ・カレンダーを見たいときは「CAL」を選びます。
- ② ② ボタンまたは ③ ボタンを押して、デジタル表示 B で地域を選ぶ
 選んだ地域の時刻またはカレンダーが、デジタル表示 A に表示されます。



地域一覧

略称	代表地域	時差	略称	代表地域	時差
UTC	協定世界時	0	ADL	アデレード	+9.5
LON	ロンドン		SYD	シドニー	+10
PAR	パリ		NOU	ヌーメア	+11
ROM	ローマ	+1	AKL	オークランド	+12
CAI	カイロ		HNL	ホノルル	-10
MOW	モスクワ	+3	ANC	アソカレジ	-9
THR	テヘラン	+3.5	LAX	ロサンゼルス	-8
DXB	ドバイ	+4	DEN	デンバー	-7
KHI	カラチ	+5	MEX	メキシコシティ	-6
DEL	デリー	+5.5	CHI	シカゴ	
DAC	ダッカ	+6	NYC	ニューヨーク	-5
BKK	バンコク	+7	YMQ	モントリオール	
SIN	シンガポール	+8	SCL	サンティアゴ	-4
HKG	香港		BUE	ブエノスアイレス	-3
BJS	北京		RIO	リオデジャネイロ	
TYO	東京				

一覧表の時差は、UTC（協定世界時）からの時差です。
 ・時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。

サマータイムを表示させる

地域ごとにサマータイムを表示させることができます。「デジタル表示の時刻を合わせる」の手順 2 で地域を選び、手順 4 で、「On」を表示させます。



On:
サマータイムが
表示されます。



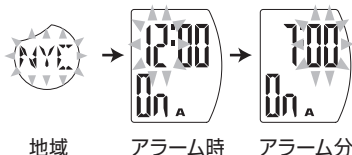
OF(OFF):
標準時刻が表示
されます。

- ・「UTC」ではサマータイムを表示させることはできません。
- ・サマータイムを表示させないときは、同じ手順で、「OF」を選びます。

アラームを使う

- ・アラームの設定は、① ボタンを押すと中断できます。
- ・設定の途中で操作を行わないまま約 2 分間経過すると、自動で中断し、モードが「TME」になります。

- ① ① ボタンをくり返し押しして、モードを [AL1] または [AL2] にする
 ・② ボタンを押すごとに、アラームのオン/オフを切り替えることができます。
 ・② ボタンを押し続けると、アラーム音を確認できます。
- ② デジタル表示 B で地域名が点滅するまで ③ ボタンを押し続ける
 アラームの設定ができるようになります。
 ・点滅している部分が、修正できる対象です。
- ③ ③ ボタンをくり返し押しして、設定する対象を選ぶ
 ・③ ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



- ④ ④ ボタンを押して、設定する
 ・④ ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
- ⑤ ⑤ ボタンを押して終了する
 ④ (アラーム表示) が表示され、アラームがオンになります。
- ⑥ ⑥ ボタンを押して、モードを [TME] にする

アラーム音をとめるときは

- ④、⑤、⑥ のいずれかのボタンを押します。
- ・アラーム音は、15 秒間鳴ります。

クロノグラフを使う

- 1/100 秒単位、最大 24 時間まで使用できます。
- ・モードを切り替えても計測は継続されます。

- ① ① ボタンをくり返し押しして、モードを [CHR] にする
- ② ② ボタンを押す
 デジタル表示 A で計測が始まり、④ が表示されます。
 スタート/ストップ: ② ボタンを押します。
 ・計測中に ③ ボタンを押すと、経過時間 (スプリットタイム) が 10 秒間表示されます。経過時間の表示中は SPL (スプリットタイム表示) が点滅します。
 ・「時」単位の計測時間はデジタル表示 B に表示されます。
 リセット: ストップ中に、③ ボタンを押します。
 ・クロノグラフ終了後は、必ずリセットを行い、モードを [TME] にしてください。



タイマーを使う

- 最大 99 分まで、1 分刻みでタイマーを設定することができます。
- ・モードを切り替えてもタイマーは継続されます。

- ① ① ボタンをくり返し押しして、モードを [TMR] にする
 デジタル表示 A に前回の設定時間が点滅します。
- ② ② ボタンを押して、タイマーの時間を設定する
 ・押し続けると、表示が連続して変わります。
- ③ ③ ボタンを押す
 デジタル表示 A でタイマーが始まり、④ が表示されます。
 スタート/ストップ: ③ ボタンを押します。
 ・タイマー作動中に ④ ボタンを押すと、設定した時間から改めてカウントダウンを始めます。
 リセット: ストップ中に、④ ボタンを押します。



設定時間が過ぎると

- タイムアップ音が 5 秒間鳴ります。
- 音を止めるには、④、⑤、⑥、いずれかのボタンを押します。

オールリセットを行う

- ① りゅうずを引く
- ② ④、⑤、⑥ ボタンを同時に押す
 液晶表示が全点灯します。
- ③ りゅうずを押し込む
 確認音が鳴り、全点灯が解除されます。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、時刻やカレンダーを合わせ直してください。アラームの設定も行ってください。